

# 各教育事務所の調査結果

## 上益城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
  - (1) 小学校の成果と課題
  - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
  - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
  - (2) 学校質問紙調査
  - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

# 1 (1) 小学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。【関連問題 A5】
- 学年別漢字配当表に表されている漢字を文の中で正しく使うこと。(せつ極的)【関連問題 A8才】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。【関連問題 B3二】

### 算数 成果が見られた内容

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができること。【関連問題 A1(2)】
- 直径の長さと同周の長さの関係について理解していること。【関連問題 A7(2)】
- 合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができること。【関連問題 B1(1)】

### 理科 成果が見られた内容

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解していること。【関連問題 1(3)】
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして、体積が増えた食塩水に適用できること。【関連問題 4(3)】
- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できること。【関連問題 1(1)】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 学年別漢字配当表に表されている漢字を文の中で正しく使うこと。(せつ備)【関連問題 A8イ】
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。【関連問題 A4】
- 計画的に話し合うために、司会の役割について捉えること。【関連問題 B1二】

### 算数 課題が見られた内容

- 円周率の意味について理解していること。【関連問題 A7(1)】
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できること。【関連問題 B5(1)】
- 示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができること。【関連問題 B2(2)】

### 理科 課題が見られた内容

- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。【関連問題 3(2)】
- 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できること。【関連問題 1(2)】
- 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。【関連問題 2(2)】

# 1 (2) 中学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。(とほさざるなし) 【関連問題 A8六2】
- 話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと。【関連問題 A6二】
- 文脈に即して漢字を正しく書くこと。(先制点をユルす) 【関連問題 A8-3】

### 数学 成果が見られた内容

- 四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $1/3$ であることを理解していること。【関連問題 A5(4)】
- 見取図、投影図から空間図形を読み取ることができること。 【関連問題 A5(3)】
- 具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができること。 【関連問題 A2(4)】

### 理科 成果が見られた内容

- 電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けていること。 【関連問題 6(1)】
- 探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしていること。 【関連問題 8(3)】
- オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができること。 【関連問題 6(2)抵抗】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。 【関連問題 B1一】
- 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。 【関連問題 A8四2】
- 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討すること。 【関連問題 A4一】

### 数学 課題が見られた内容

- 座標平面上に点の位置を示すことができること。【関連問題 A10】
- 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解していること。 【関連問題 A15(1)】
- 2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解していること。 【関連問題 A7(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができること。 【関連問題 1(2)】
- 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できること。 【関連問題3(2)3.0%の濃度】
- アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けていること。 【関連問題 8(1)】

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点から	1.5年生(中学2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.0	76.3	76.7	77.3	70.5	73.8
	2.5年生(中学2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	56.7	59.0	61.0	47.4	46.2	53.8
	3.学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.5	77.3	77.7	81.8	75.7	76.3
規範意識・自己有用感等	4.自分には、よいところがあると思いますか	84.8	84.1	84.0	81.5	78.1	78.8
	5.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	80.5	85.3	85.3	85.0	80.6	82.2
	6.将来の夢や目標を持っていますか	85.1	85.0	85.1	70.4	72.4	72.4
	7.学校のきまりを守っていますか	89.9	90.3	89.5	96.8	94.8	95.1
	8.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.8	96.8	96.8	96.6	96.4	95.5
	9.人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.7	95.1	95.2	96.5	96.1	94.9

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
学習習慣等	10.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.3	64.6	67.6	49.4	47.7	52.1
	11.家で、学校の宿題をしていますか	96.2	96.4	97.1	93.7	90.7	91.6
	12.家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	59.8	61.9	62.6	52.3	50.4	55.2
	13.家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	70.4	73.2	69.9	69.5	69.7	71.3
生活習慣等	14.毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	72.0	76.5	77.0	75.7	73.6	74.2
	15.家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	75.7	78.6	80.5	77.7	76.8	76.0
地域や社会	16.今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.4	66.0	62.7	49.7	40.7	45.6
	17.地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.1	50.0	49.9	38.6	36.1	38.7
	18.地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	41.1	40.1	41.6	20.7	23.0	25.5

## 2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
改善に関する取組状況	1. 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか(新規)	83.3	88.1	83.6	100	75.4	80.8
	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100	97.4	93.0	100	95.8	92.6
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	87.5	87.8	84.4	50.0	68.6	73.7
導入など、取組状況	4. 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.8	97.1	94.9	100	94.6	93.1
	5. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.4	94.4	100	96.3	91.8
	6. 学校として業務改善に取り組んでいますか(新規)	100	98.5	97.4	100	97.6	96.8
向上	7. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100	99.4	96.7	100	93.3	90.9
	8. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	91.7	97.6	95.1	100	87.3	85.4
個別指導	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	58.3	42.3	35.2	50.0	42.2	28.6

## 2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
自己規範意識の有無	10. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100	100	99.0	87.5	98.8	97.9
家庭学習	11. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	95.8	91.5	91.6	87.5	90.4	87.1
地域や学校に関する学習活動の取組	12. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	100	87.8	86.2	87.5	83.7	79.8
家庭や地域との連携	13. 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか(新規)	91.7	90.3	90.6	100	84.3	85.2
	14. 保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	95.8	99.5	97.7	100	94.6	90.4
	15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	100	80.2	72.8	62.5	69.9	60.7
	16. 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100	97.7	95.4	87.5	90.3	88.6
全国学力・学習状況調査等の活用	17. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.9	97.6	100	95.8	96.1
	18. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	91.7	91.9	92.3	62.5	82.5	88.5

## 2 (3) 質問紙調査に関する分析

### 【児童・生徒質問紙調査結果から】

- 昨年度は、家庭における学習習慣の確立について指導してきた。その成果として、小学校においては、1日の学習時間が増えた。また、「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」の問いに対する回答にも改善がみられた。家庭学習の質も向上してきていることがうかがえる。
- 中学校においては、地域・社会への関心や貢献度が高い。また、理科の授業に関する質問については、いずれも高い数値である。「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」や「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒が多く、主体的に授業に臨んでいる様子がうかがえる。

### 【学校質問紙調査結果から】

- 小中学校ともに共通しているのは、全国学力・学習状況調査の結果を県学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている学校が多いということである。課題を改善し、学力向上に学校総体として取り組んでいることがうかがえる。

### 3 今後の取組の重点事項

#### 重点事項① 各種研修会の工夫

- ・学力向上の取組について、好事例を紹介するとともに、課題意識の共有化を図る。（9月 研究主任研修会）
- ・「学力向上に向けた取組」というテーマで、自校の実践をポスターセッション形式で交流する。（10月 教頭等研修会）
- ・学力向上の取組について、好事例を紹介するとともに、自校の課題分析方法や課題解決の方策について協議を行う。（10月 教務主任研修会）

#### 重点事項② 町教育委員会、郡教育長会等との連携

- ・教育対策会議（学力向上に向けた提言等の取扱）（3回／年）
- ・町学校教育指導員等との連絡会（3回／年）

#### 重点事項③ 学力向上支援事業の推進

- ・各校のミドルリーダー82名を対象とした授業参観指導（1人3回／年）
- ・管内好事例の紹介等に基づく学力向上サポート
- ・学力向上対策検討会及び学力向上実践交流会の実施